

[要点]

1日8時間労働など、労働時間・賃金などの労働条件の最低基準を定めた労働基準法、団結権、団体交渉権、団体行動権の労働三権を定めた労働組合法、労働争議の予防や早期解決を図るために定められた労働関係調整法の3つをまとめて労働三法という。このほか、職場での男女平等を規定した男女雇用機会均等法がある。

[A問題：要点確認]

1日()時間労働など、労働時間・賃金などの労働条件の最低基準を定めた()法、()権、()権、()権の労働三権を定めた()法、労働争議の予防や早期解決を図るために定められた()法の3つをまとめて()法という。このほか、職場での男女平等を規定した()法がある。

[B問題]

- (1) 1日8時間労働など、労働時間・賃金などの労働条件の最低基準を定めた法律を何というか。
- (2) 労働三権を具体的に定めた法律名を書け。
- (3) 労働争議の予防や早期解決を図るために定められている法律名を書け。
- (4) 1986年に施行された採用や昇進についての男女平等を規定した法律を何というか。
- (5) わが国の企業は、定年までの雇用を保証してきたが、これを何というか。

[解答]

- (1) 労働基準法 (2) 労働組合法 (3) 労働関係調整法 (4) 男女雇用機会均等法
- (5) 終身雇用制

[C問題]

- (1) 労働基準法、労働組合法、労働関係調整法をまとめて、どのように呼ぶか書け。
- (2) 労働基準法では、1日あたりの労働時間を何時間以内としているか。
- (3) 長時間勤務によって仕事が過密になり、死にいたる場合もある。これを何というか。
- (4) 日本国憲法で保障されている、労働三種を3つとも書け。

[解答]

- (1) 労働三法 (2) 8時間 (3) 過労死 (4) 団結権、団体交渉権、団体行動権

[C問題]

- (1) 労働者と使用者との関係は必ずしも対等ではない。そこで、弱い立場の労働者が団結して、労働条件を取り決めることができるように憲法で認められているのは何の結成かを書け。
- (2) 労働組合を結成する権利を何というか。
- (3) 労働組合が会社側に交渉を申し込んだときに、会社側は正当な理由なしにこれを拒否することはできない。この権利を何というか。
- (4) Aさんは仲間と組合を作り、委員長になった。会社側に話し合いを申し入れたところ、組合活動をしたとの理由で解雇されそうになった。これについて、正しいものをア～ウから1つ選び、記号で答えよ。
 - ア 組合をつくるときには会社側と事務手続きが必要であり、それをしなかったので、解雇しようとした会社側の処置は正しい。
 - イ 労働組合の活動については法律で定められていないので、解雇されることもある。
 - ウ 正当な理由なく組合との交渉に応じないことや組合員に対して不利な扱いをすることは違法であり、解雇されることはない。

[解答]

- (1) 労働組合 (2) 団結権 (3) 団体交渉権 (4) ウ

[C問題]

- (1) 働く意思や能力があるのに働いていない状態を何というか。
- (2) 近年、雇用や賃金のあり方を見直す企業が増えたことから、パートタイマーや派遣労働者などが増えている。このような就業者を何といいますか。
- (3) 経営不振におちいった企業が行う経費削減のための再建、またはそれによって社員を解雇することをカタカナで何というか。
- (4) 性別にかかわらず、能力を発揮できる環境をつくるために男女雇用機会均等法が防止するよう求めている性的ないやがらせを何というか。

[解答]

- (1) 失業 (2) 不安定就業者 (3) リストラ (4) セクシャル・ハラスメント